



『ユーラシア農耕史』・『麦の自然史』
出版記念シンポジウム
農業とは何か

2010年5月8日(土)13:30~15:30(開場13:00)
同志社校友会・新島会館本館2階・会議室F(大ホール)

要申し込み・先着順(定員150名)

『ユーラシア農耕史』『麦の自然史』出版記念シンポジウム 農業とは何か

総合地球環境学研究所・プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」では、これまでの成果に基づいて、『ユーラシア農耕史』(臨川書店)と『麦の自然史』(北海道大学出版会)を出版いたしました。本シンポジウムでは両書籍の出版を記念して、1万年にわたる農業と環境の関係史を踏まえつつ、そもそも「農業とは何か」について様々な観点から議論を展開していきます。

プログラム

司会：細谷 葵（総合地球環境学研究所）

13:30-13:40 開会の挨拶

木村 栄美（総合地球環境学研究所）

パネリスト

小山 修三（吹田市立博物館）
話題：「農業に利用された火」

佐藤 雅志（東北大学大学院）
話題：「モンスーンの風土と農業」

加藤 鎌司（岡山大学大学院）
話題：「ヒトと麦と自然の1万年史」

鶴岡 真弓（多摩美術大学）
話題：「古ヨーロッパの初期農耕社会：
女神／豊饒の表象」

鞍田 崇（総合地球環境学研究所）
話題：「農業とモダニズム」

進行

佐藤 洋一郎（総合地球環境学研究所）

13:40-15:20

パネルディスカッション
「農業とは何か」

15:20-15:30 閉会の挨拶

佐藤 洋一郎

書籍情報



『ユーラシア農耕史』全5巻／臨川書店

佐藤洋一郎監修 鞍田崇・木村栄美編

第1巻「モンスーン農耕圏の人びとと植物」 2,940円

第2巻「日本人と米」 2,940円

第3巻「砂漠・牧場の農耕と風土」 2,940円

第4巻「さまざまな栽培植物と農耕文化」 3,150円

第5巻「農耕の変遷と環境問題」 2,940円



『麦の自然史』／北海道大学出版会

佐藤洋一郎・加藤鎌司 編著 3,150円

※価格はすべて税込

会場
同志社 新島会館・本館2階
会議室F(大ホール)

〒602-0867
京都市上京区寺町通り丸太町上ル
TEL:075-251-4393

- JR京都駅よりタクシーで約20分
- 京阪丸太町駅より徒歩西へ約10分
- 地下鉄丸太町駅より徒歩東へ約10分
- 阪急烏丸駅よりタクシーで約10分
- 地下鉄京都市役所前駅より徒歩北へ約15分



お問合せ・お申込先

下記の参加申込書に必要な事項を記入の上、FAXにてご返信ください。もしくは申込項目をメールにてご返信いただいても結構です。FAX、メールの使用ができない場合には、お手数ですが葉書にお名前、ご住所、電話番号を記載の上、郵送にてお申し込みください。



総合地球環境学研究所
プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」
(プロジェクトリーダー：佐藤 洋一郎)

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
TEL：075-707-2385 FAX：075-707-2508
MAIL：sato@chikyu.ac.jp
担当：田中克典(地球研・プロジェクト研究員)

プロジェクト関連企画のお知らせ

企画展「色いろに色いろを食べる -食と農の多様性」(仮題)

会場：国立科学博物館(東京・上野公園)・日本館1階展示室 期間：2010年9月18日(土)～2011年1月中旬頃

当プロジェクトではこの秋、研究成果をもとに「食」と「農業」についての展示を開催します。

(切 取 り)

『ユーラシア農耕史』・『麦の自然史』

FAX：075-707-2508

出版記念シンポジウム参加申込書

ふりがな
お名前

ご同伴の方がいらっしゃる場合には、その方のお名前もご記入ください。

〒
ご住所

TEL

FAX

メールアドレス